

成長可能性に関する説明資料

株式会社SKIYAKI

2017年10月26日

証券コード：3995

- 1 会社概要** ...p.3
- 2 市場環境** ...p.16
- 3 成長戦略** ...p.20



1 会社概要

会社名

株式会社SKIYAKI (SKIYAKI Inc.)

本社所在地

東京都渋谷区桜丘町15-14
フジビル40 4F (※)

設立

2003年8月

資本金

450百万円

2017年10月26日現在

従業員数

49名

2017年8月末現在（臨時社員除く）

主な株主

カルチュア・コンビニエンス・
クラブ株式会社

役員構成

代表取締役 宮瀬 卓也
取締役 戸崎 勝弘
取締役 吳島 孟倉
取締役 酒井 真也
取締役 菅沼 博道
取締役（監査等委員） 豊田 洋輔
社外取締役（監査等委員） 井上 昌治
社外取締役（監査等委員） 内海 淳

連結子会社

株式会社ロックガレージ
株式会社リアニメーション

関連会社

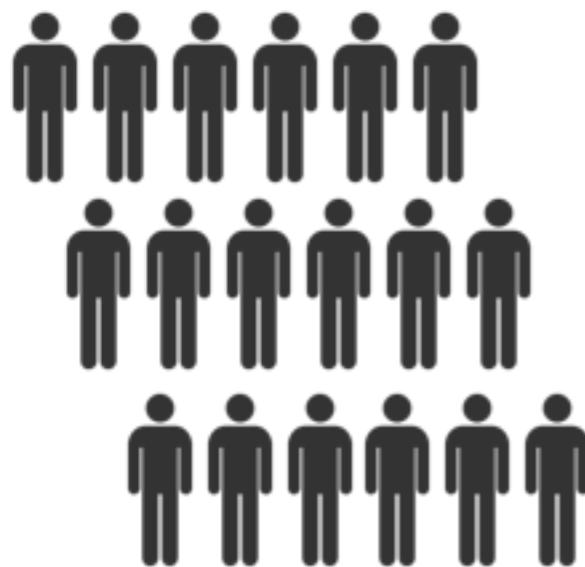
株式会社SKIYAKI OFFLINE

(※) 2017年11月1日付で、東京都渋谷区道玄坂1-14-6 に移転予定。

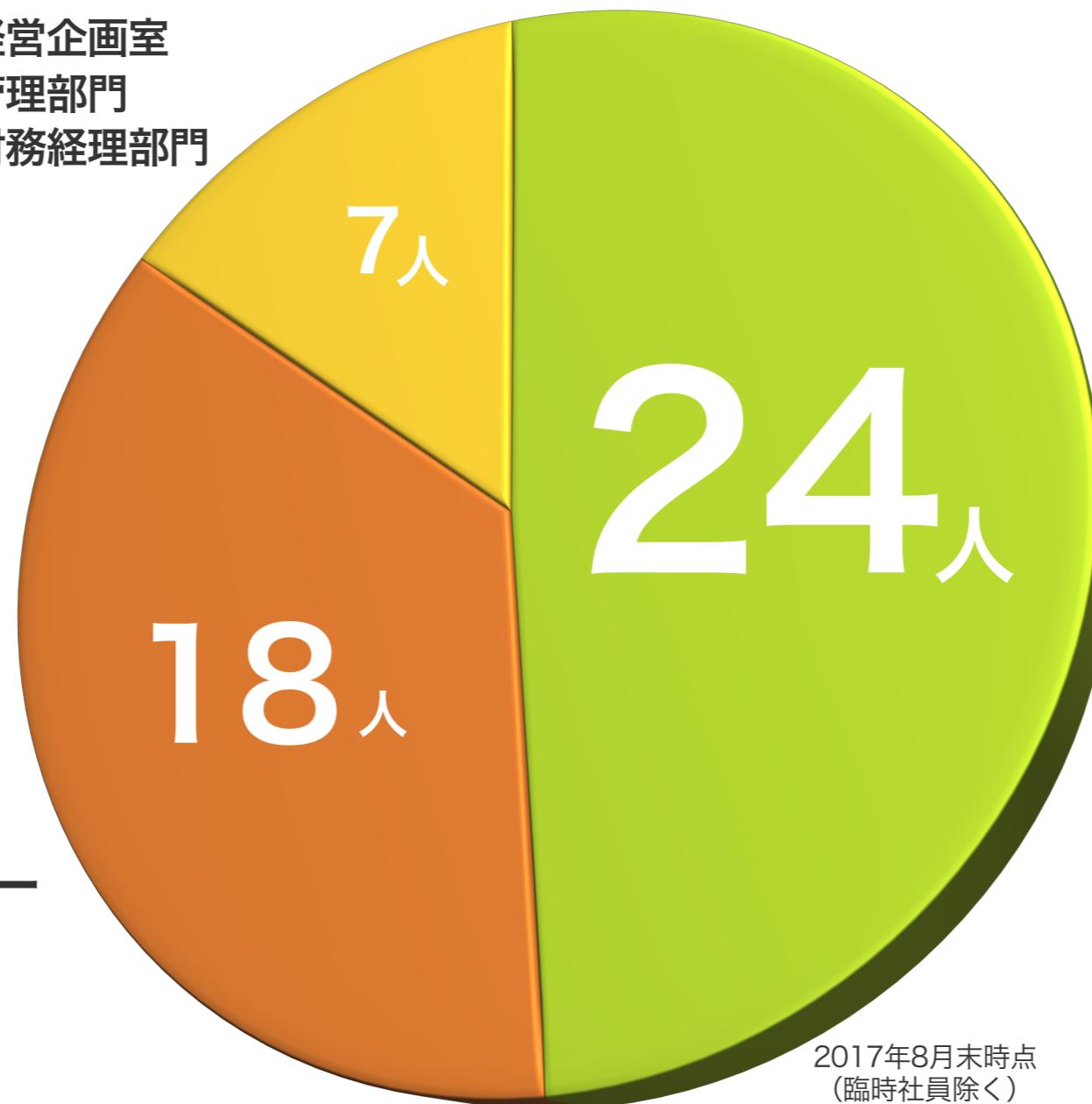
S 組織メンバー構成



経営企画室
管理部門
財務経理部門



プロデューサー
ディレクター

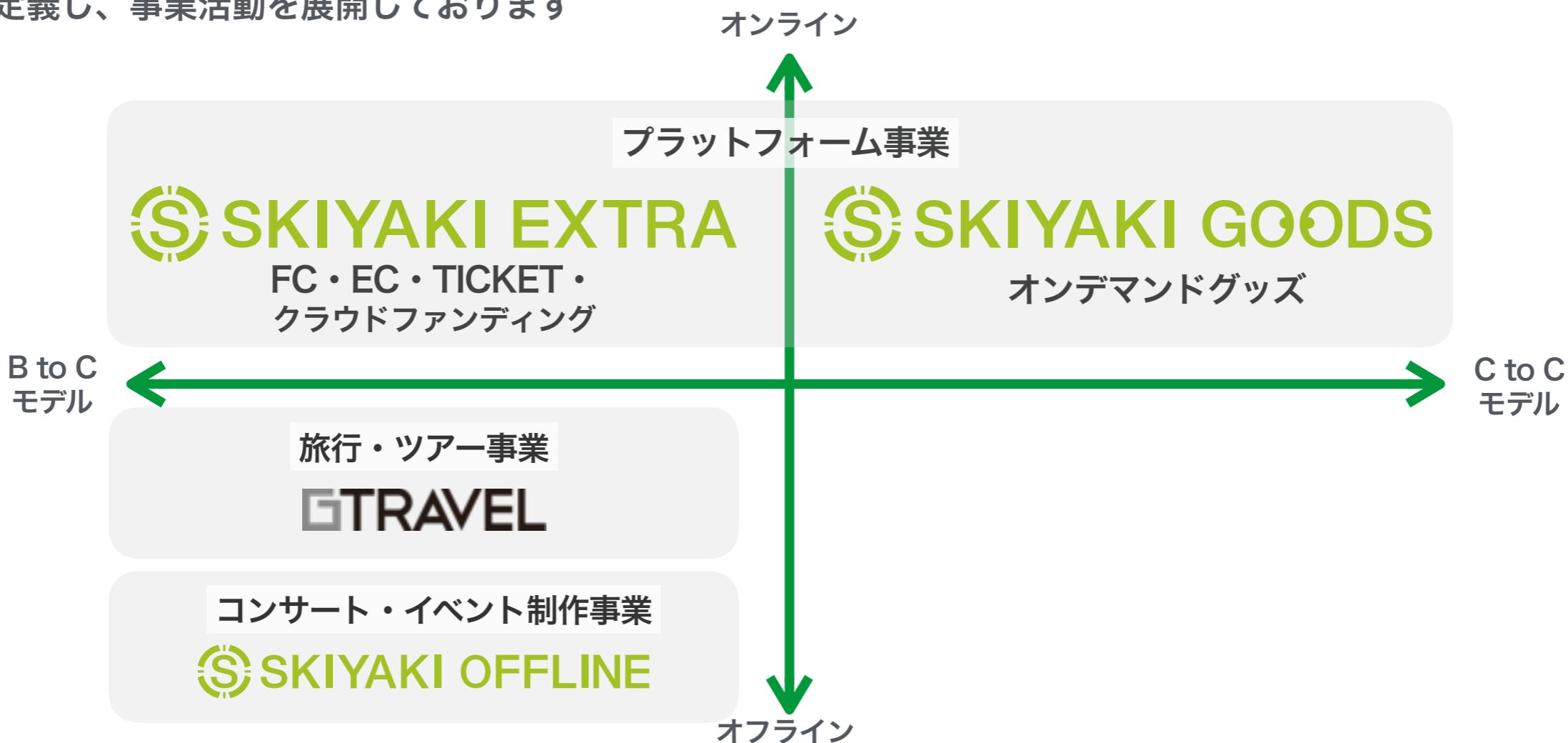


サーバーサイドエンジニア
インフラエンジニア
フロントエンドエンジニア
アプリエンジニア
デザイナー

当社はエンジニアが多数在籍するテクノロジー企業です。IT・エンタテインメント業界出身者や、公認会計士などプロフェッショナルなメンバーで構成されております。

—FanTech—

「創造革命」の担い手であるアーティストやクリエイターは、音楽・漫画・アニメ・映画・舞台・アートなどのエンタテインメント領域で活動を行っています。一方、その創造的な活動を行う人やコンテンツには、応援し支える「ファン」の存在が不可欠となります。当社グループでは、ファンのためになるサービスをテクノロジーによって実現し、新しいマーケットを創造する取り組みを、Fan × Technology = “FanTech”と定義し、事業活動を展開しております



ワンストッププラットフォーム

 SKIYAKI EXTRA



ファンクラブサイト × EC × チケット
ID連携によるワンストップサービスをご提供！

118万人

総登録会員数：

※平成29年7月末現在

前年同月比57.9%増



ワンストップ・ソリューション プラットフォーム「SKIYAKI EXTRA」

SKIYAKI EXTRAは、ワンストップ・プラットフォームとなっており、1つのIDで、各種サービスをご利用いただけます。また、効率化されたプラットフォームのため、非常に短期間で多数のFC、EC、チケットサービスのリリースが可能となっています。

サイトへのアクセスや購買等の行動履歴データはリアルタイムに蓄積され、これらのデータをもとに、ファンの方々のためになる施策をご提案致します。

国内の各種決済手段はもちろん、海外決済、最大37ヶ国語の翻訳も可能です。

✓ストック型サービス

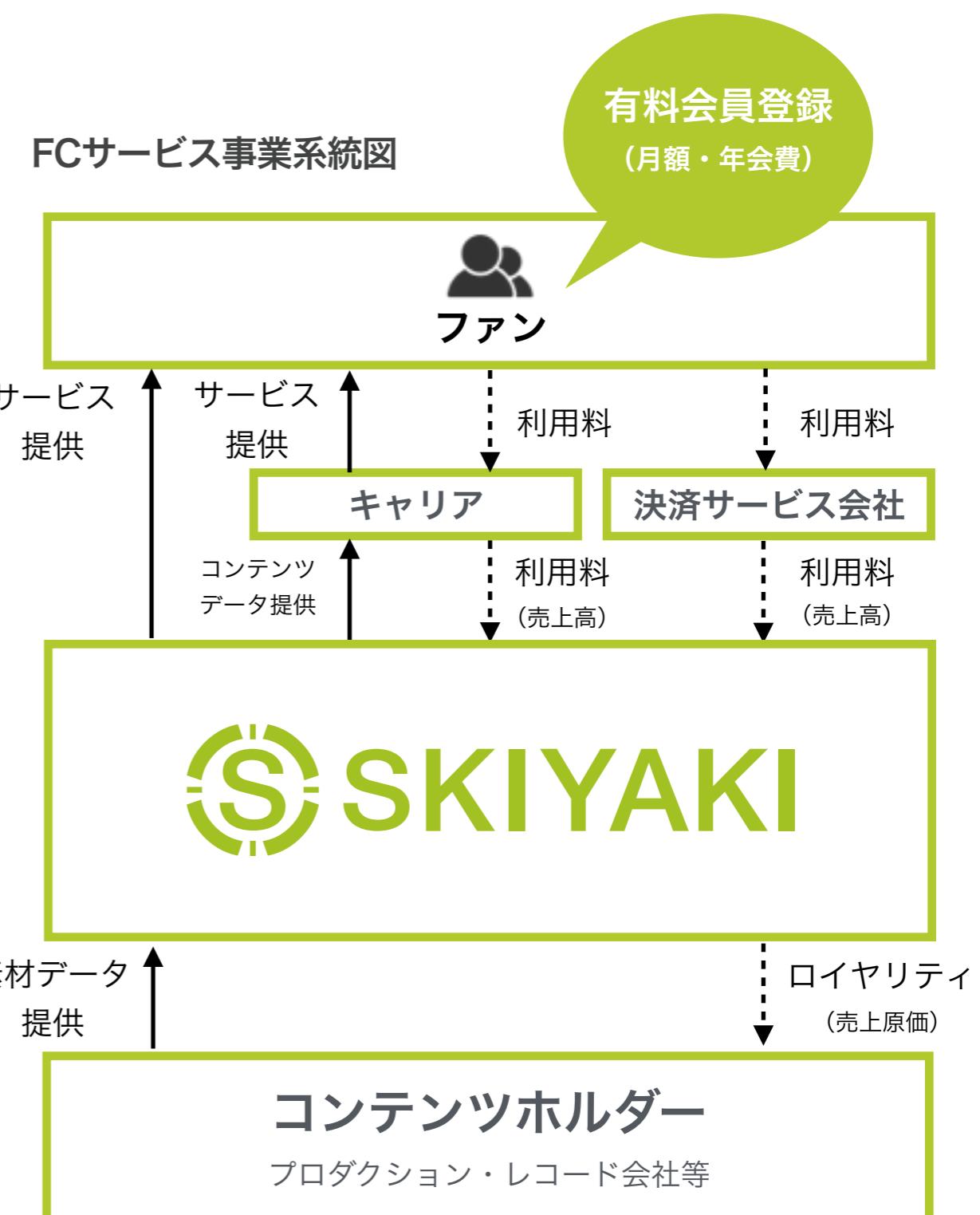
FCサービスのビジネスモデルは、有料会員の積み上げによるストック型サービスのため、安定的な売上を実現しています。サービス数および有料会員数の増加により、継続的な売上の向上が見込めます。

✓レビューシェア

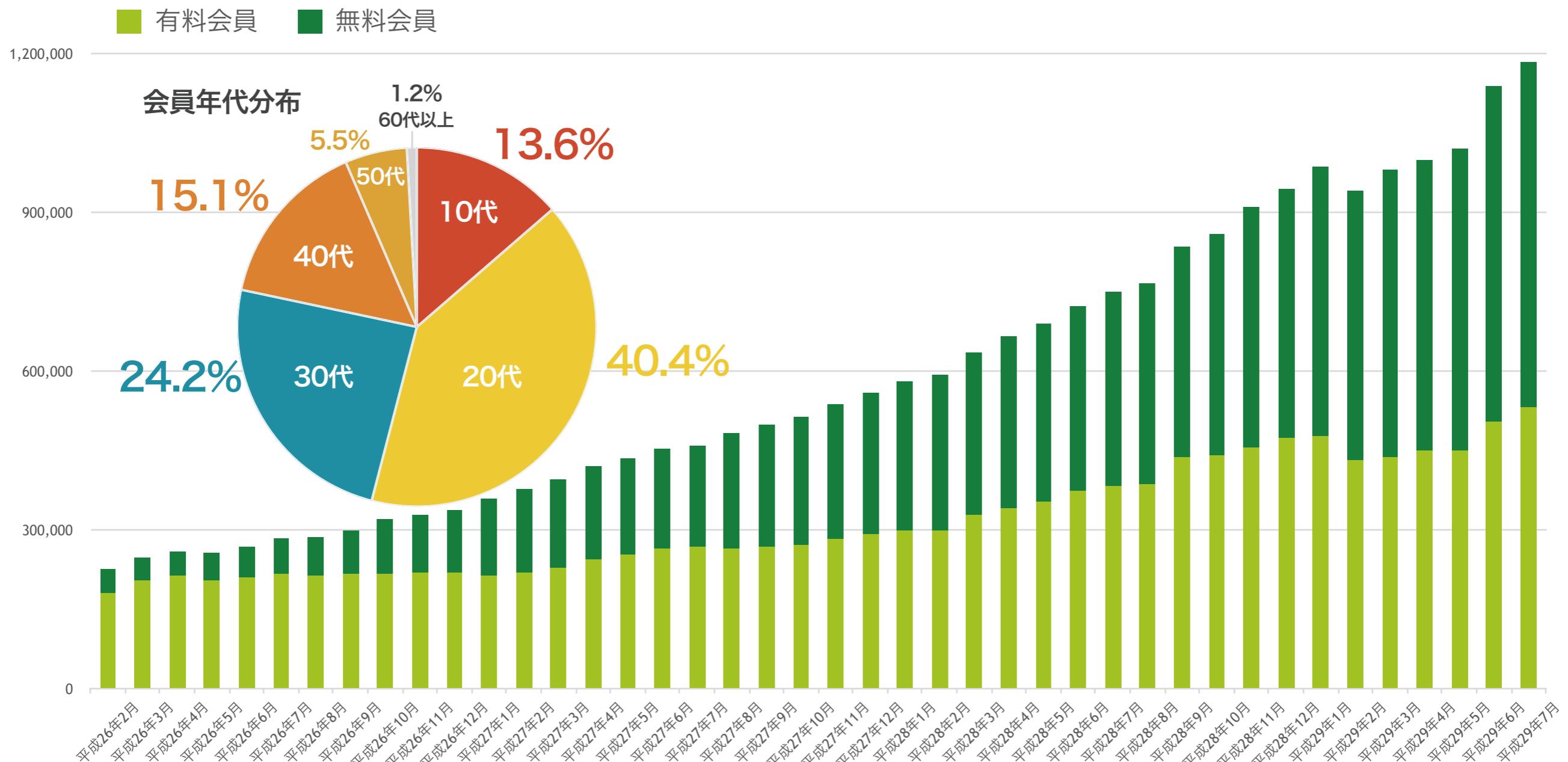
SKIYAKI EXTRAは、基本的に、あらかじめ定めた料率でコンテンツホルダーと収益を分配するレビューシェアモデルでサービスを提供いたします。

✓初期費用・運用コスト0

サイト構築初期費用や運用固定費用など発生しないため、導入のハードルを下げ、スピーディーなサービス立ち上げを実現しています。



会員数月次推移



有料会員 53万人

無料会員含む総会員数は 118万人

※平成29年7月末現在

オンデマンドグッズサービス 「SKIYAKI GOODS」

✓初期費用・在庫リスクなしのグッズ販売

イラストや写真などの画像データをアップロードするだけでオリジナルグッズを作成・販売できるサービスです。商品在庫を持たず、オンラインでの受注が発生した後に、各アイテム素材にデザインのプリントを施し商品発送を行います。初期投資・サイト運営費等の負担もありません。

✓誰でも運用の手間なくマネタイズ可能

販売者は、デザインの販売価格を自由に設定していただくことが可能で、商品が購入された際にデザインの設定価格分の収益を得ることができます。商品の製造・発送・カスタマーサポート等の手間をかけずにマネタイズが可能になります。

✓購入者のデザインカスタマイズ対応

グッズの購入者は、アップロードされているデザインとアイテムを選び、デザインのサイズや配置を自由に設定した上で、オリジナルグッズの購入ができます。

CtoC
モデル



販売者の3ステップ

STEP 1

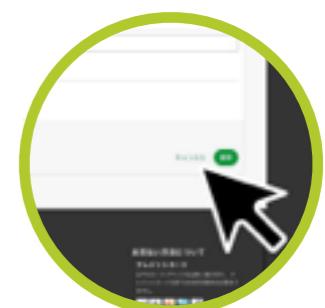
デザイン投稿

STEP 2

販売価格設定

STEP 3

販売開始！



購入者の3ステップ

STEP 1

デザインをさがす

STEP 2

アイテムを選んで
グッズを作る

STEP 3

購入！



旅行・ツアー事業 「G TRAVEL」



VAMPADDICT会員限定 ツアーパッケージ

- ・ VAMPADDICT -WINTER 2017-
- ・ VAMPADDICT -WINTER 2016-



HYDERoom会員限定 ツアーパッケージ

- ・ HYDERoom presents 黒ミサ 2016 in Furano
- ・ HYDERoom presents 黒ミサ 2015 in Furano

Kalafina オフィシャルファンクラブ
「Harmony」限定 ツアーパッケージ

- ・ Kalafina “9+ONE” in Taiwanファンクラブ
公式応援ツアーアー

連結子会社である株式会社ロックガレージにおいて、旅行・ツアー事業である「G TRAVEL」を展開しております。主に、「SKIYAKI EXTRA」にてFCを運営しているアーティストのファンクラブツアーやライブ・イベント参加ツアー等の企画・運営をしており、これまでに国内はもちろん、海外ツアーの催行実績もあります。

ファンMTG



上映イベント



イベント名	DAVID'E CLUB 1周年だヨ！全員集合!! - Episode 4 -
主 催	DAVID'E CLUB
日 時	2017年3月26日 (日) 17:00~21:00
会 場	笹塚ボウル
参加人数	約50人
出 演 者	君沢ユウキ MC : Ozzy
役 务	企画・制作・運営・進行・配券・会場ブッキング

イベント名	『信長の忍び』第1期のイッキ見上映&トークショーイベント
主 催	信長の忍び製作委員会
日 時	2017年5月2日 (火) 19:30~21:30
会 場	新宿バルト9
参加人数	約400人
出 演 者	水瀬いのり (千鳥役)、山口勝平 (木下秀吉役)、大地丙太郎監督 MC : ニッポン放送 吉田尚記
役 务	制作・運営

海外イベント



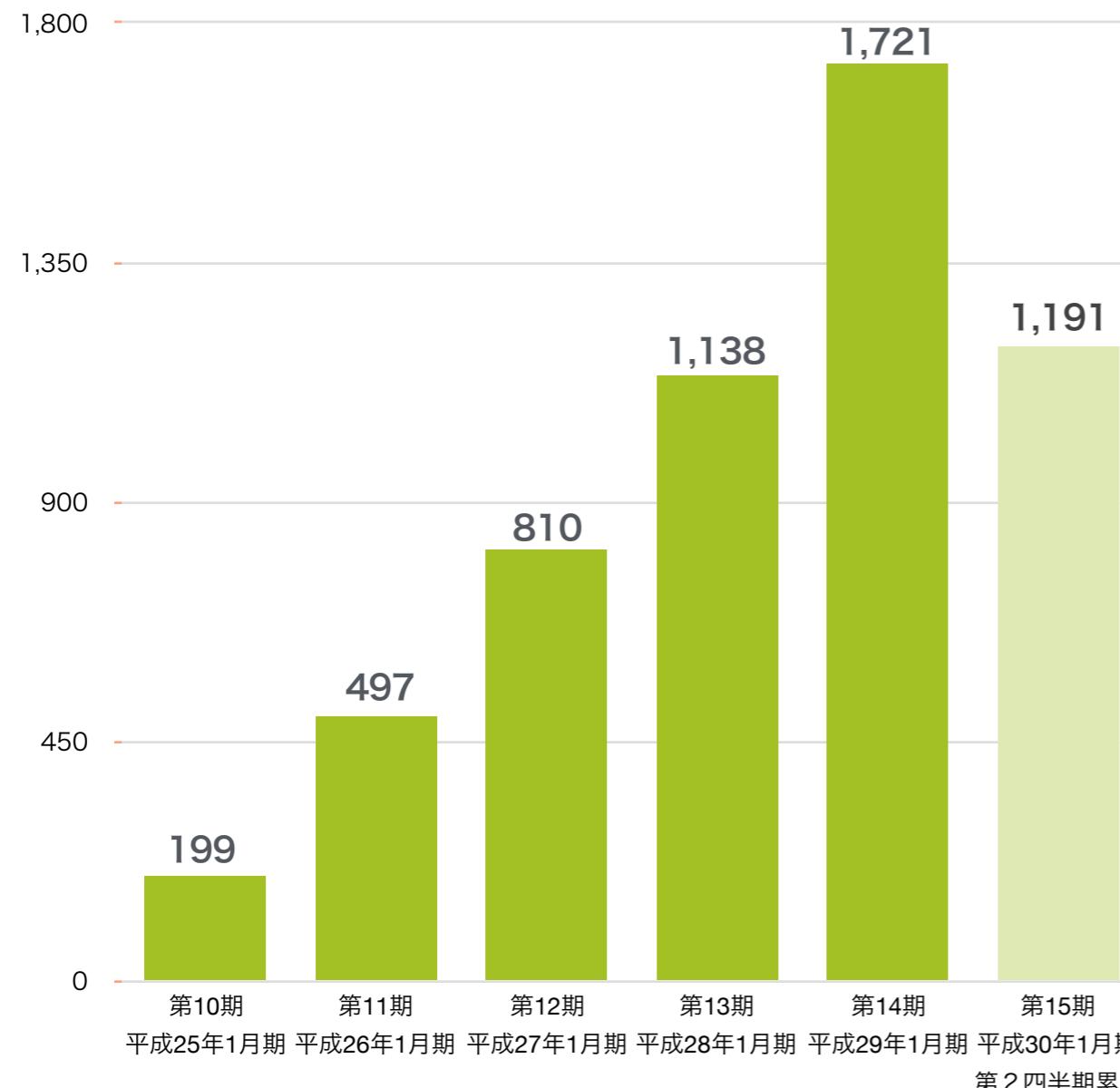
企業イベント



イベント名	JAPAN EXPO THAILAND 2017
主 催	G-Yu Creative
日 時	2017年2月11日 (土) ~13日 (月)
会 場	セントラルワールドプラザ / Central World
参加人数	約300,000人
出 演 者	AKB48, ピコ太郎、鶯谷フィルハーモニー、龍馬四重奏、アキシブproject、他
役 务	ブッキング代行、アーティストメディアブッキング、制作アシスト

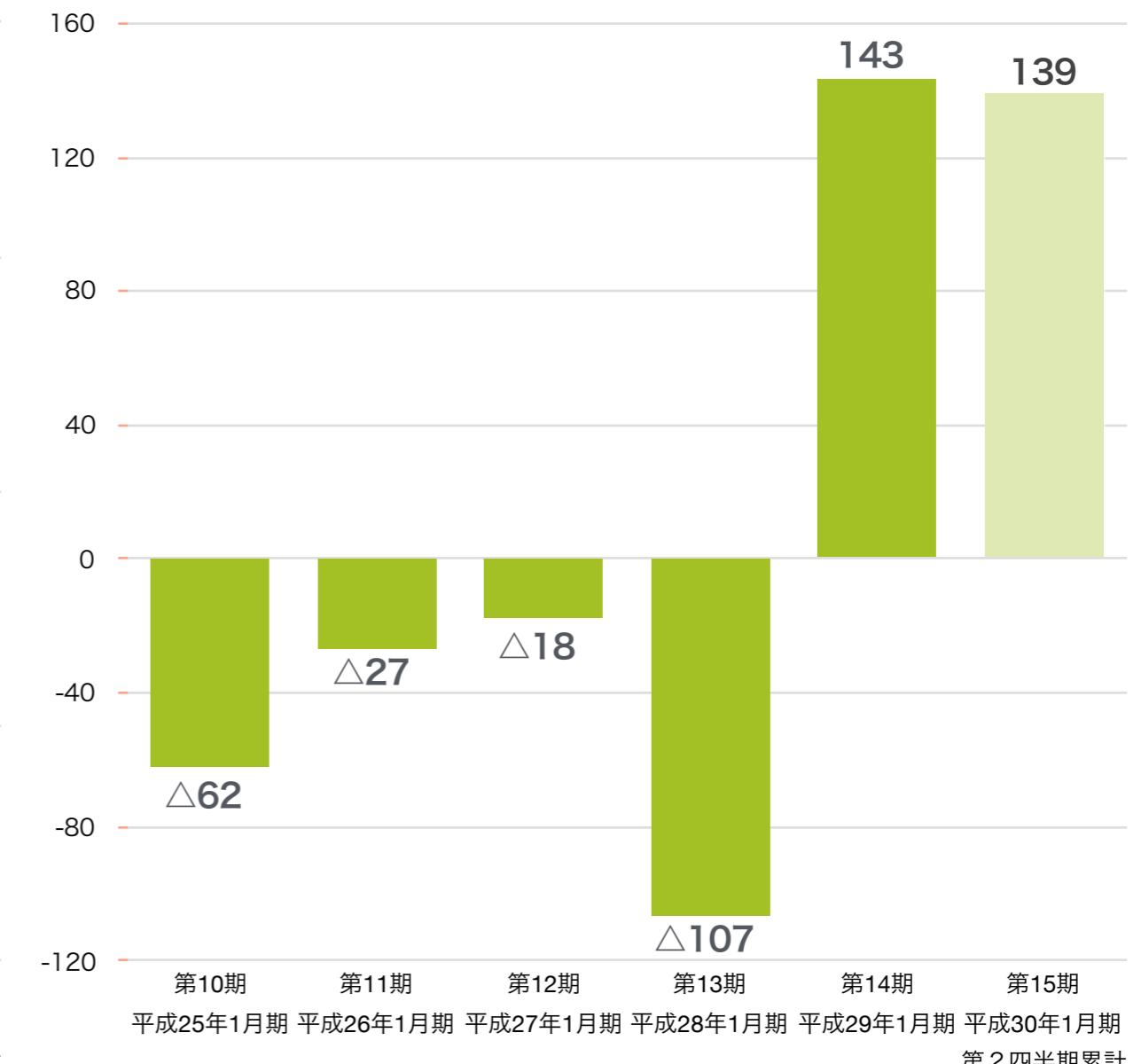
イベント名	CodeIQ感謝祭～聞いて触って感じるデジタルアートな1日！
主 催	株式会社リクルートキャリア
日 時	2017年3月11日 (土) 13:00~19:00
会 場	株式会社リクルートキャリア本社内
参加人数	約450人
登 壇 者	落合陽一様 (筑波大学助教授・デジタルネイチャー研究室) 澤円様、千代田まどか様 (日本マイクロソフト株式会社)
役 务	制作・運営・エリア企画協力

売上高推移 (百万円)



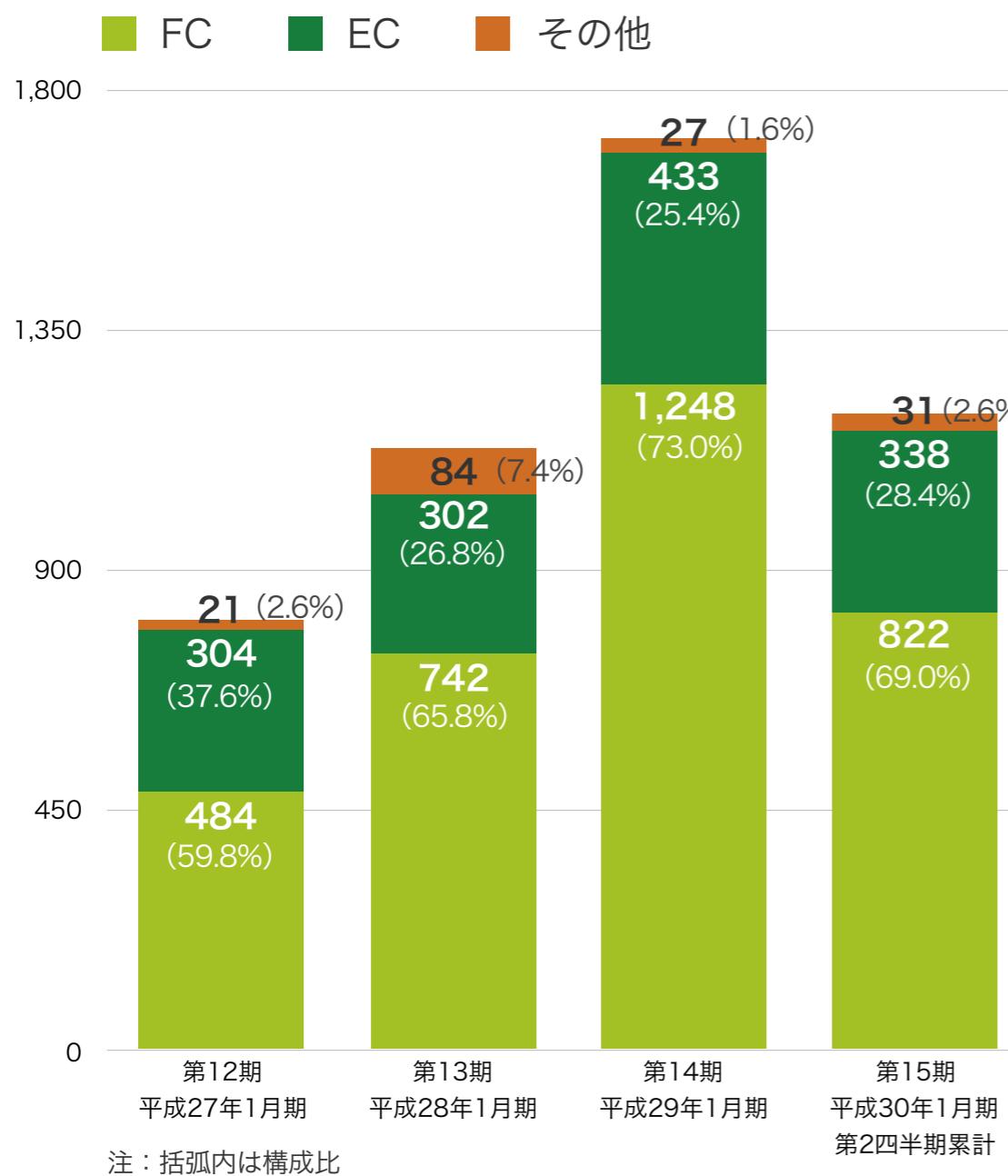
継続的に成長を続け
5期連続增收を実現

営業利益推移 (百万円)

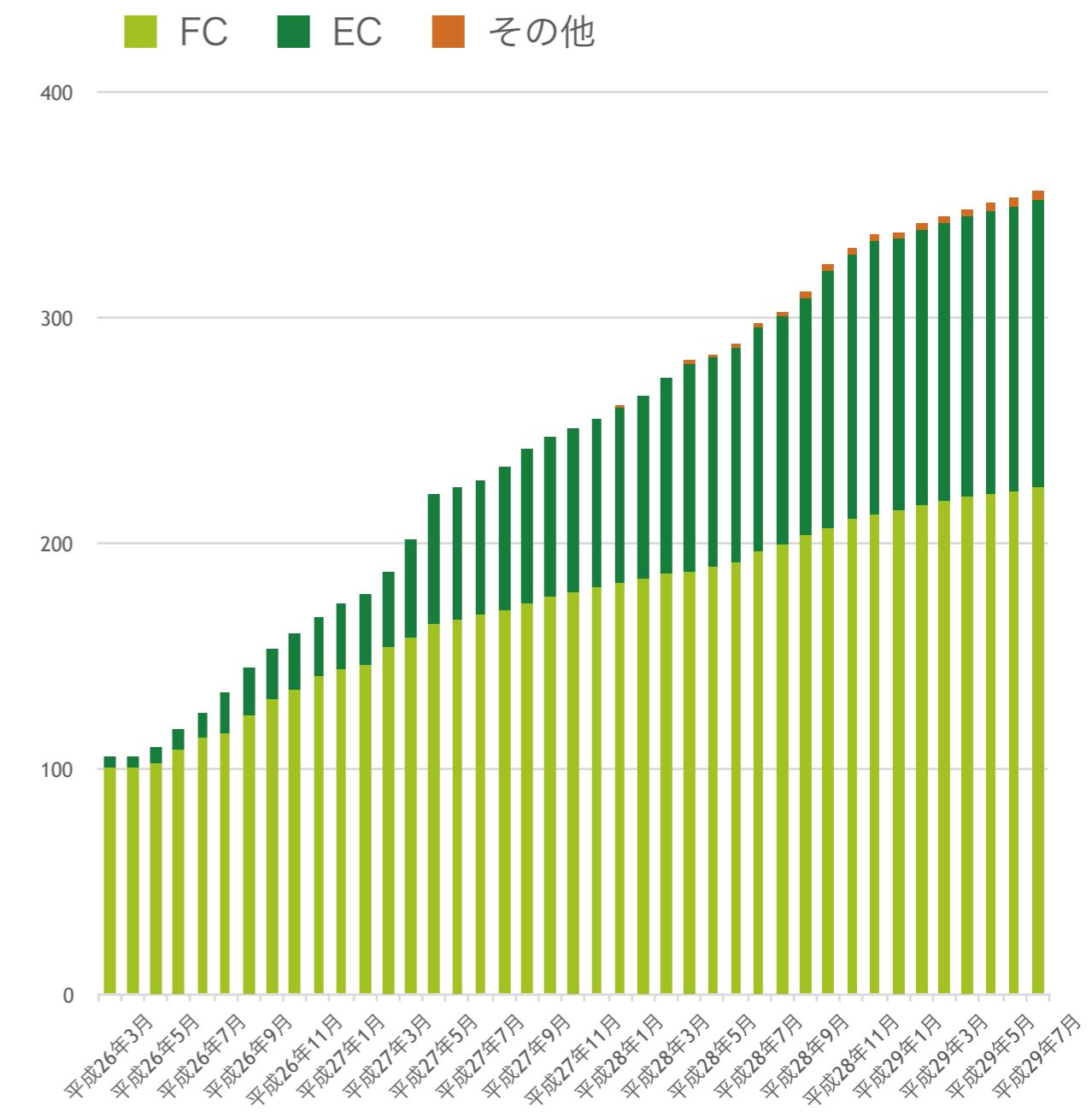


先行投資フェーズを経て
第14期より着実に黒字化

サービス別売上高構成 (百万円)



サービス数推移



FC・ECを中心に順調な伸び。提供サービス数300超。

※平成29年7月末現在



2 市場環境



①FC：ファンクラブの存在の重要性

デビュー歌手数



出典元：一般社団法人 日本レコード協会

公演回数

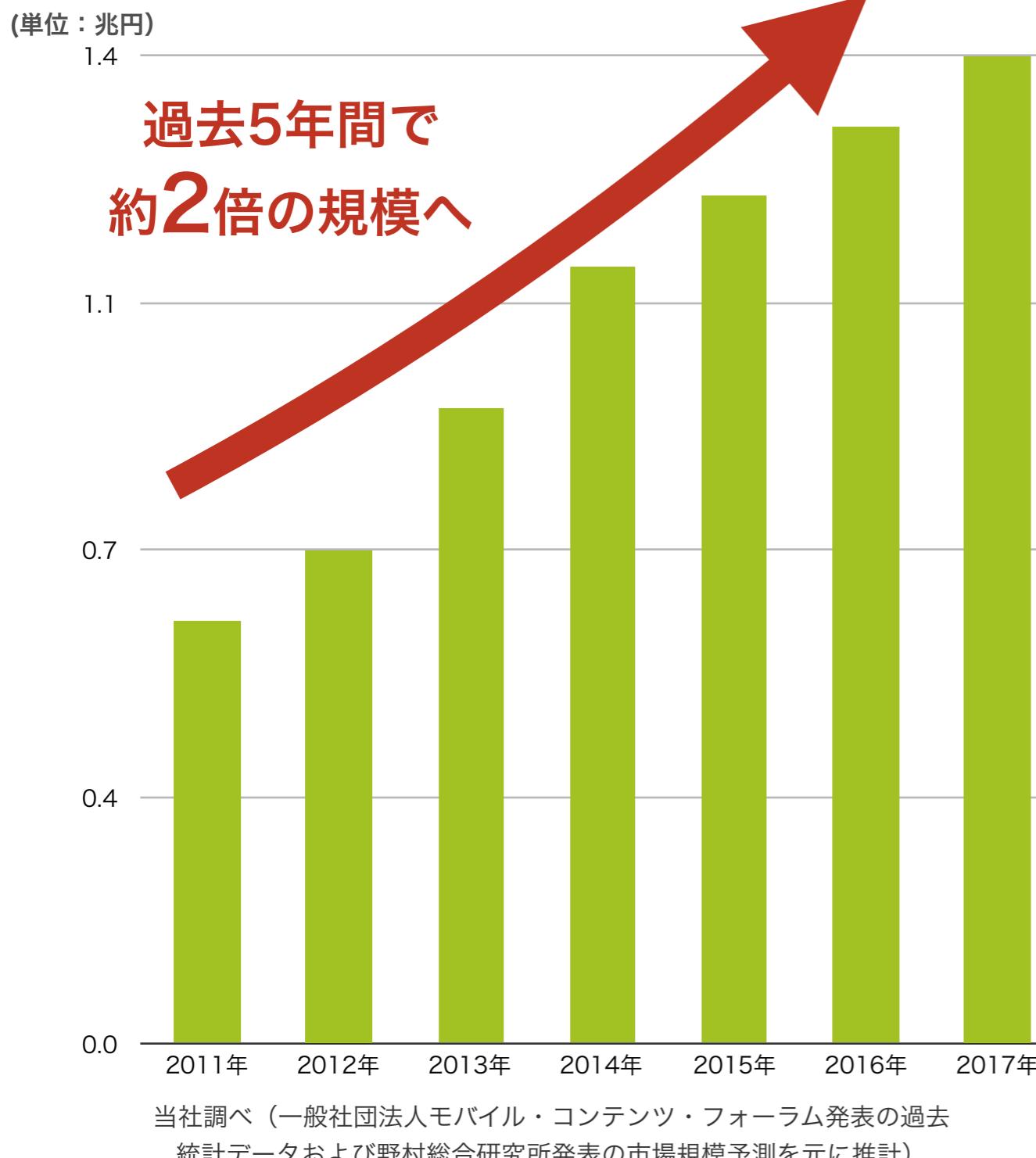


出典元：一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会

音楽業界では、毎年300組以上の歌手がデビューしており、公演回数も過去10年間で約2倍となっています。音楽産業の事業構造が、CDなどのパッケージ販売から、ライブ・コンサートなどの「体験型」市場に推移している中、ファンが優先的にライブ・コンサートのチケットやグッズを購入できるファンクラブサービスは、今後も需要が高まっていくと考えられます。

S ②EC：アーティスト・エンタメ関連EC市場規模推移

アーティスト・エンタメ関連ECの市場規模（想定）



モバイル・コンテンツ・フォーラムの過去統計データを元に分析した結果、モバイルコンテンツ市場に対する当社対象市場（芸能・エンタメ）の占有率は概ね7～8%程度と推測されます。

B to C EC全体の市場規模予測は、2017年には17.8兆円規模となる見込みであり、このことより、アーティストグッズを中心としたエンタメ関連グッズの市場は、2017年には1.4兆円程度の市場規模があると見込まれます。

またライブ・コンサートの市場規模でも、公演に際して、アーティストのツアーグッズの販売は好調であり、アーティストビジネスの収益の柱の一つになっているため、今後も引き続き成長が期待されます。

③TICKET：チケット市場と二次流通市場の重要性

ライブ・コンサート来場者数



出典元：一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

前述の通り、ライブ・コンサート市場は伸びており、チケット市場も増加傾向にあるため、ファンクラブと連動したチケットサービスの成長は高い可能性を持っています。

また、行けなくなったチケットの二次流通の市場規模も2014年の市場規模（取扱高）400億円から、5年後には800億円に倍増する見通しとなっています。

（2015年3月20日日本経済新聞）

チケットの高額転売に反対しているアーティスト・団体も多く、転売目的のチケット売買ではなく、本来のファンが適正な価格でチケット入手できる公式二次流通の市場が整備・拡大することが見込まれます。



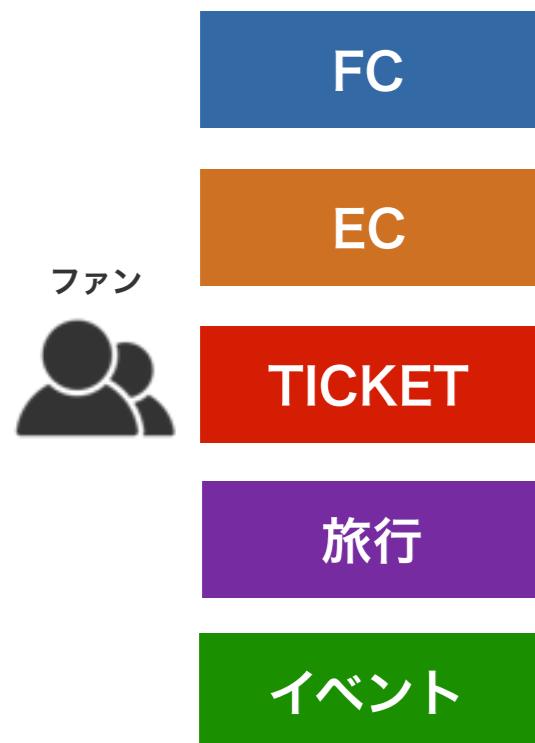
3 成長戦略



ファン行動の可視化による価値の創出

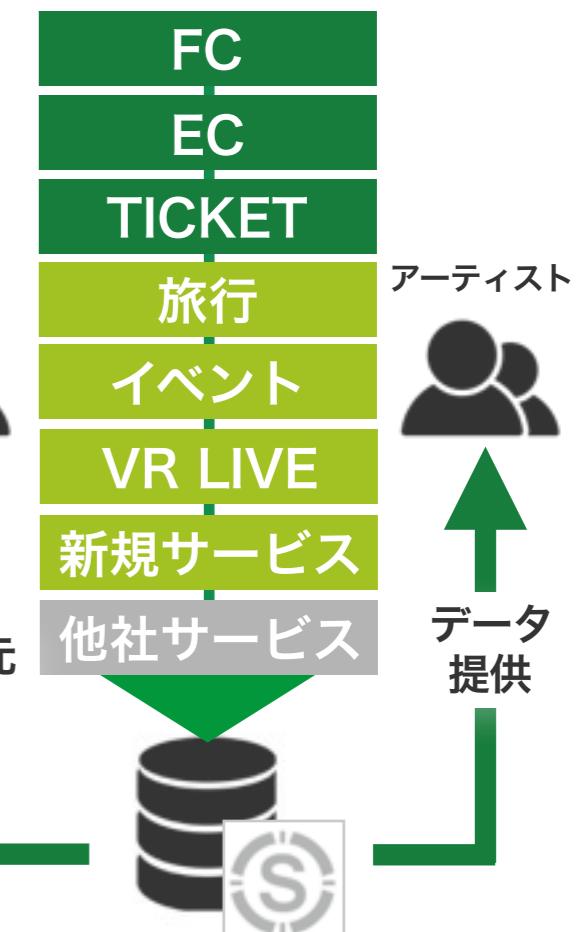
ファンサービスの発展・変遷

SKIYAKI 以前



SKIYAKI EXTRA

SKIYAKI EXTRA
×
FanTech



＜マルチチャネル＞

サービスは存在するが
運営会社がバラバラ

運用に手間がかかる
ユーザビリティも悪い

ワンストッププラットフォーム
でサービス運用が可能に

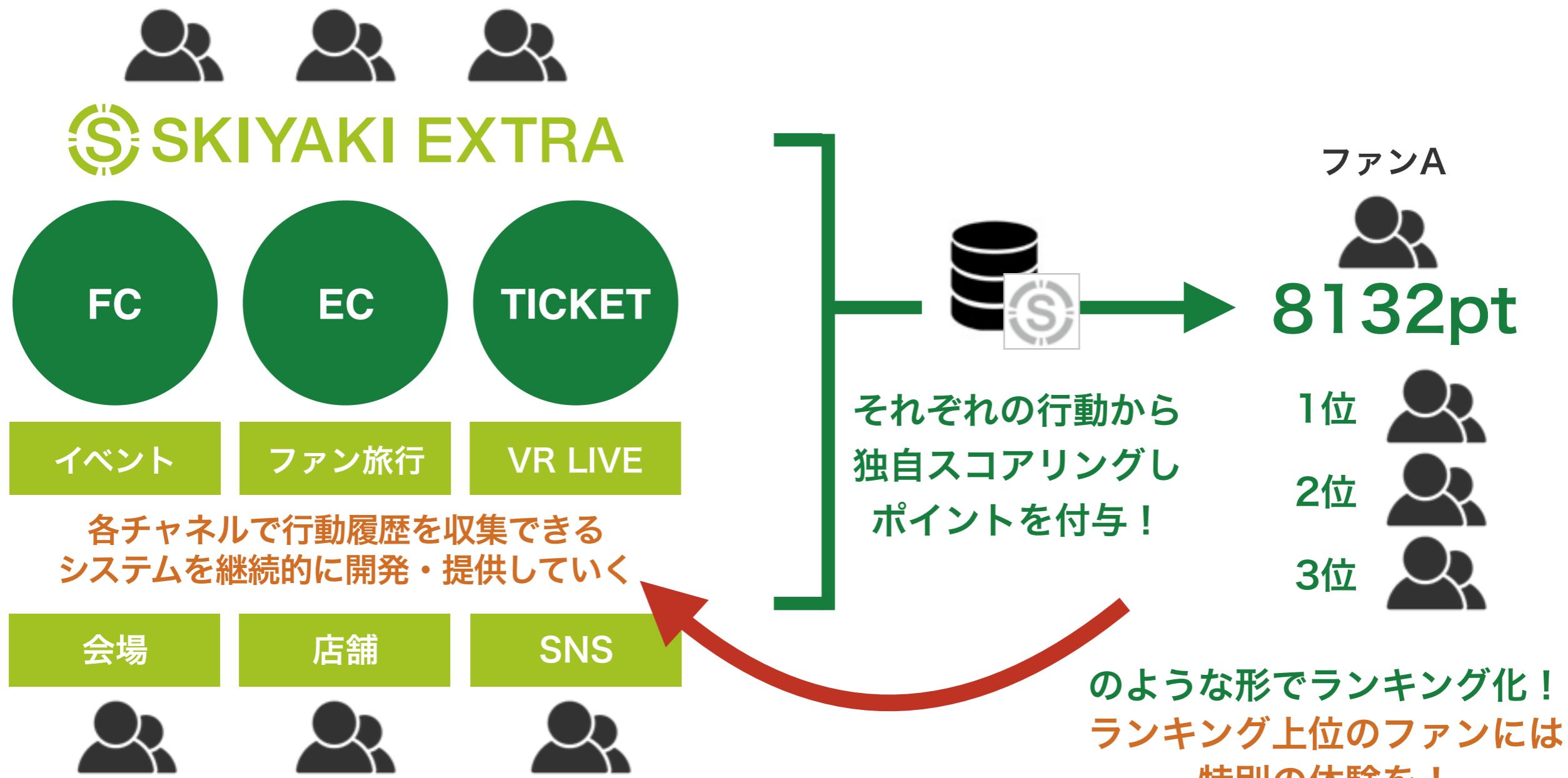
多数のファンサイトを
世の中へ提供

＜オムニチャネル＞

あらゆるファンの行動履歴を
集計・独自スコアリング

ファンの熱量の可視化により
新たな価値の創出へ

◎ ファン行動の可視化による価値の創出



スコアリング・ランキングの導入により、
各種提供サービスでのファン行動が促進される！
結果、全体としての収益性が高まる。

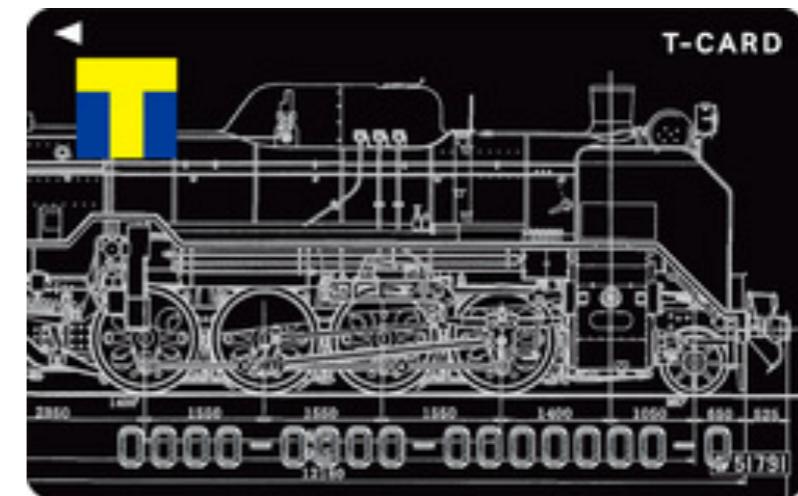
例) 上位100名の
限定イベント招待など



「好き」に会えるファンサービス「Tファン」を
カルチュア・エンタテインメントと共同運営開始！

日本の2人に1人にある6,403万人の
Tカードの利用者に向け、ライフスタイル系の
ジャンルに特化したファンサービス「Tファン」
を2017年10月5日より本格展開開始！

今後は、TSUTAYA店頭やファンサービスを
活用した、よりエンゲージメントの高いサービ
スを展開することで、コンテンツとファンの双
方にとて付加価値の高いプラットフォームの
提供を目指してまいります。



本格展開第一弾は、
大人の鉄道ファンにお届けする
『Rail Fan Club』

<限定特典>

- (1) Tカード（蒸気機関車D51デザイン）を全員プレゼント
- (2) 希少な鉄道誌のバックナンバーが電子版で読み放題
- (3) オリジナル写真集『「鉄道」昭和の記憶』を全員プレゼント
- (4) EF53形トラベルトートバッグ全員プレゼント
- (5) 登録者限定イベント、ショッピング

当社グループは、高度情報化社会の発展に伴う急速なテクノロジーの進化に対応し、サービスのユーザーに対して価値のある革新的なサービスを提供していくため、事業ドメインであるFanTech領域において、主として以下の技術に係る研究開発活動、新規事業の創出に取り組んでおります。



エンタテインメント領域での ブロックチェーン技術の活用

(応用例)

可視化されたファンの熱量ポイントの
個人間やり取りなど

人工知能技術の自社サービス への応用、業務効率の改善

(応用例)

カスタマーサポートの自動化・効率化など

VR技術を利用した360°リアル タイムVR LIVE配信事業の創出

 本資料の取り扱いについて

- ・本資料には、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般的に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示原則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- ・なお、本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願ひいたします。